

文学部 史学・文化財学科(日本史・アーカイブズ コース)・・・教職と学芸員・アーキビスト資格取得を意識した履修モデル

科目／学年		1年次	単位	2年次	単	3年次	単位	4年次	単位	合計単位
教養科目	基礎ゼミ	導入演習(史学・文化財)	1							41
		基礎演習(史学・文化財)	1							
	コア1	大学史と別府大学	2	インターンシップ基礎	1	インターンシップ I	1			
		キャリア教育Ⅰ	2	キャリア教育Ⅱ	2					
		市民生活とアーカイブズ	2							
	コア2	哲学	2							
		倫理学	2							
		心理学Ⅰ	2							
		文化史	1							
		体育実技Ⅰ	1							
		体育実技Ⅱ	1							
	コア3	法学(日本国憲法)	2							
		国際関係論	2							
		行政法	2							
	コア4	生物学	2	AI基礎	1					
		情報リテラシー	1		1					
		数理・データサイエンス入門	2							
	コア5	英語1	1	TOEIC1	1					
		英語2	1	TOEIC2	1					
		英語3	1							
		英語4	1							
		中国語基礎1	1							
		中国語基礎2	1							
小計	—	34	—	6	—	1	—			
専門科目	共通専門科目	日本史の基礎1	2	デジタルアーカイブズ	2	美術史概論	2		92	
		日本史の基礎2	2	生涯学習論Ⅰ	2	世界遺産学概論	2			
		世界史の基礎1(西洋史)	2	博物館教育論	2	考古学概論	2			
		世界史の基礎2(東洋史)	2	博物館情報・メディア論	2					
		地理学の基礎	2							
		環境歴史学概論	2							
		博物館概論	2							
	小計	—	14	—	8	—	6	—		
	演習科目			発展演習1	1	専門演習1(近現代史1)	1	卒業演習1(近現代史1)	1	
				発展演習2	1	専門演習2(近現代史1)	1	卒業演習2(近現代史1)	1	
	小計	—		—	2	—	2	—	2	
	学科専門科目			アーカイブズ論Ⅰ	2	アーカイブズ管理論	2	国際交渉論	2	
				アーカイブズ論Ⅱ	2	アーカイブズ実習Ⅰ	1	宗教史	2	
			博物館資料論	2	アーカイブズ実習Ⅱ	1	法制史	2		
			博物館経営論	2	日本史実習	1				
			日本史講義1(古代・中世史料論)	2	民俗学実習	1				
			日本史講義2(近世史料論)	2	考古学講義3(歴史考古資料論)	2				
			日本史講義3(近代史料論)	2						
			史学概論	2	博物館実習					
			地誌学	2	博物館展示論					
			法律学概論	2	博物館資料保存論					
			政治学概論	2						
			社会学概論	2						
			経済学概論	2						
			歴史地理	2						
			レコードマネジメント論Ⅰ	2						
			レコードマネジメント論Ⅱ	2						
小計	—	0	—	32	—	8	—	6		
コース専門科目					日本史特講1(古代・中世史)	2				
					日本史特講2(近世史)	2				
					日本史特講3(近現代史)	2				
小計	—	0	—	0	—	6	—	6		
合計		—	48	—	48	—	24	—	14	133
主要科目1	科目名	市民生活とアーカイブズ		デジタルアーカイブズ		専門演習1(アーカイブズ学)		卒論演習1		
	特徴	公文書館についての入門。一般市民でもしておいてほしい内容です。公文書館や企業などの現場の実地を知ることができます。		デジタルはいまや避けて通れない必須知識である。この授業ではデジタルカメラを使いこなすことだけでなく、文化財などのデジタル記録化の実技も身につける。		アーカイブズの読解能力と調査能力を身につける。そのためにWebや辞典類の活用を徹底して行う。疑問は討論でぶつけあう。この2つをこなせるようになることで、リサーチ能力とコミュニケーション能力を高めます。		卒業論文の作成を指導が主であるが、4年生の生活指導、就活指導も一括して行う。4年間の総括である卒論作成を通じて自主性を育てる最終階梯であり、自立を援助する。		
	目的	あたらしい分野であるアーカイブズについての理解を得て、教養と専門教育の基礎とする。		デジタル技能を身につけ、準デジタル・アーキビスト資格(日本デジタル・アーキビスト資格認定機構)を取得する。		専門調査研究の基礎訓練		卒論作成調査研究の指導と支援、生活と就活の支援		
主要科目2	科目名	日本史の基礎2		アーカイブズ管理論		アーカイブズ実習Ⅱ		卒論演習2		
	特徴	近現代史を中心とした日本史のあらすじを理解するための授業です。なるべく画像を多数用いて臨場感を味わいながら、歴史の流れを理解します。		マネジメントの基礎を学ぶ。レコードは保存期限内の現用文書のことで、現在オフィスで用いている文書のことです。保存期限が切れても廃棄しないで保存するとアーカイブズになります。		歴史的アーカイブズすなわち古文書と行政文書の本物を扱います。夏には自治体の教育委員会と協力して合宿して文書整理を行い、大分県立公文書館で実習を行います。		卒業論文の仕上げの指導。学生は論文作成でオリジナリティを出すことに苦しむが、指導は厳しくおこない、学生の成長を支援する。		
	目的	2年次以降の専門教育の基礎を固めると同時に、市民としての教養を得る。		マネジメントの基礎を身につけます。危機管理などもあります。		アーカイブズの取り扱い能力の獲得		卒業論文の仕上げの指導		

文学部 史学・文化財学科(世界史コース※西洋史専攻の場合)・・・教職資格取得と大学院進学を意識した履修モデル

科目／学年		1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	合計単位
教養科目	基礎ゼミ	導入演習(史学・文化財)	1							48
		基礎演習(史学・文化財)	1							
	コア1	大学史と別府大学	2	インターンシップ基礎	1	インターンシップ1	1			
		キャリア教育Ⅰ	2	キャリア教育Ⅱ	2					
		市民生活とアーカイブズ	2							
	コア2	哲学	2	スポーツと健康	2					
		倫理学	2	歴史学	2					
		心理学Ⅰ	2							
		体育実技Ⅰ	1							
		体育実技Ⅱ	1							
	コア3	法学(日本国憲法)	2							
		国際関係論	2							
	コア4	生物学	2	AI基礎	1					
		情報リテラシー	1							
		数理・データサイエンス入門	2							
	コア5									
		英語1	1	英語語彙1	1	英語ステップアップ演習1	1			
		英語2	1	英語語彙2	1	英語ステップアップ演習2	1			
		英語3	1	TOEIC1	1	TOEIC3	1			
		英語4	1	TOEIC2	1	TOEIC4	1			
		フランス語基礎1	1							
		フランス語基礎2	1							
小計	—	31	—	12	—	5	—	0		
専門科目	共通専門科目	日本史の基礎1	2	博物館概論	2	美術史概論	2	地方自治論	2	77
		日本史の基礎2	2	生涯学習論Ⅰ	2					
		世界史の基礎1(西洋史)	2	デジタルアーカイブズ	2					
		世界史の基礎 2(東洋史)	2							
		地理学の基礎	2							
		文化人類学	2							
		世界遺産学概論	2							
		環境歴史学概論	2							
	小計	—	16	—	6	—	2	—	2	
	演習科目			発展演習1(史学・文化財学)	1	専門演習1(西洋史)	1	卒業演習1(西洋史)	1	
				発展演習2(史学・文化財学)	1	専門演習2(西洋史)	1	卒業演習2(西洋史)	1	
	小計	—	0	—	2	—	2	—	2	
	学科専門科目			世界史講義1(東洋史)	2	歴史地理	2			
				世界史講義2(西洋史)	2	観光文化財論	2			
				世界史講義3(文明史)	2	国際関係概論	2			
				史学概論	2	国際交渉論	2			
				地誌学	2	法制史	2			
				法律学概論	2	宗教史	2			
				政治学概論	2	心理学Ⅱ	2			
				社会学概論	2	生命倫理学	2			
				経済学概論	2					
				歴史地理	2					
			世界遺産研究(国外)	2						
小計	—	0	—	22	—	16	—			
コース専門科目					世界史特講1(東洋史)	2				
					世界史特講2(西洋史)	2				
					世界史特講3(文明史)	2				
小計	—	0	—	0	—	6	—	6		
合計		—	47	—	40	—	31	—	10	125
主要科目1	科目名	大学史と別府大学		発展演習Ⅰ(史学・文化財学)		専門演習Ⅰ(西洋史)		卒業演習Ⅰ(西洋史)		
	特徴	別府大学の歴史を主に戦後の歴史のなかに位置づけて講義する。		それぞれの関心にしたがって、プレゼミ的な演習を行う。		欧文献や史料の読解力と研究に関する基礎的能力を養う。また、自身の研究に関連して関連な質疑応答の能力を身につける。		各人が関心を持つテーマについて、卒業論文のテーマ設定、参考文献収集、構想設定等を行う。		
	目的	自分の大学の歴史を学ぶことによって大学へのアイデンティティーを高める。		3年生の専門演習の前段階として基本的な専門知識を養う。		史料や文献を厳密に読解する能力を養う。		卒業論文作成のための準備を行う。		
主要科目2	科目名	世界史の基礎1(西洋史)		世界史講義2(西洋史)		世界史特講2(西洋史)		卒業演習2(西洋史)		
	特徴	西洋古代から現代までの歴史理論から世界史を把握する。		中央・東ヨーロッパの歴史を帝国の歴史よりとらえなおす。特に、ハプスブルク家による家領支配をつうじてヨーロッパ世界が現在の社会へとどのように変容したのかについて考察する。		中央・東ヨーロッパの歴史を多角的に検討する。特に、中東欧史研究に関連する最新の分析視座など隣接学問の視点なども含めて古代から現代まで考察する。		各人が設定したテーマに関する報告を行い、最終的に卒業論文を完成させる。		
	目的	世界史の研究と教育のあり方を考える。		現在の国際問題の根源を理解する。		現在の国際問題を多角的に理解する。		卒業論文を作成することによって、テーマの設定方法、文献収集、書き方の方法を習得する。		

文学部 史学・文化財学科(考古学・文化財科学コース)・・・学芸員資格取得と大学院進学を意識した履修モデル

科目／学年		1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	合計単位
教養科目	基礎ゼミ	導入演習（史学・文化財）	1							38
		基礎演習（史学・文化財）	1							
	コア1	大学史と別府大学	2	インターンシップ基礎	1	インターンシップⅠ	1			
		キャリア教育Ⅰ	2	キャリア教育Ⅱ	2					
		市民生活とアーカイブズ	2							
	コア2	哲学	2							
		歴史学	2							
		心理学Ⅰ	2							
		体育実技Ⅰ	1							
		体育実技Ⅱ	1							
	コア3	法学(日本国憲法)	2							
		国際関係論	2							
			2							
	コア4	生物学	2	AI基礎	1					
		情報リテラシー	1							
		数理・データサイエンス入門	2							
	コア5	英語1	1	英語語彙1	1					
		英語2	1	英語語彙2	1					
		英語3	1							
		英語4	1							
		韓国語基礎1	1							
		韓国語基礎2	1							
	小計	—	32	—	6	—	1	—	0	
専門科目	共通専門科目	考古学概論	2	生産学習論Ⅰ	2	美術史概論	2			91
		文化財科学概論	2	博物館教育論	2					
		世界遺産学概論	2	博物館情報・メディア論	2					
		日本史の基礎1	2	世界遺産研究（国外）	2					
		日本史の基礎2	2	地理学の基礎	2					
		民俗学概論	2	美術史概論	2					
		環境歴史学概論	2	世界史の基礎(東洋史)	2					
		文化人類学	2							
		博物館概論	2							
	小計	—	16	—	14	—	2	—		
	演習科目			発展演習1（史学・文化財学）	1	専門演習1（考古学・文化財科学）	1	卒業演習1（考古学・文化財科学）	1	
				発展演習2（史学・文化財学）	1	専門演習2（考古学・文化財科学）	1	卒業演習2（考古学・文化財科学）	1	
	小計	—	0	—	2	—	2	—	2	
	学科専門科目			考古学講義1（先史考古資料論1）	2	歴史地理	2			
				考古学講義2（先史考古資料論2）	2	宗教史	2			
				考古学講義3（歴史考古資料論）	2	人類学総論	2			
				文化財科学講義（文化財保存学）	2	世界史講義1（東洋史）	2			
				民俗学講義	2					
				日本史講義1（古代・中世資料論）	2	博物館実習				
				博物館資料論	2	博物館展示論				
				博物館経営論	2	博物館資料保存論				
				文化財保護論	2					
				環境史	2					
	小計	—	0	—	20	—	8	—	0	
	コース専門科目			埋蔵文化財調査実習Ⅲ(インターンシップⅡ)	1	考古学特講1（弥生・古墳考古学）	2	文化財科学実習Ⅰ（機器分析）	1	
						考古学特講2（歴史考古学）	2			
						考古学特講3（考古学史）	2			
						文化財科学特講2（保存修復）	2			
						民俗学特講	2			
						日本史特講1（古代・中世史）	2			
						考古学実習Ⅰ（調査整理法）	1			
						考古学実習Ⅱ（調査整理法）	1			
						埋蔵文化財調査実習Ⅰ（遺跡発掘）	1			
						埋蔵文化財調査実習Ⅱ（遺跡発掘）	1			
						文化財科学実習Ⅱ（修復）	1			
						民俗学実習	1	卒業論文	6	
	小計	—	0	—	1	—	18	—	7	
	合計	—	48	—	43	—	30	—	14	129
主要科目1	科目名	考古学概論		考古学講義3（歴史考古資料論）		専門演習1(考古学・文化財科学)		卒業演習1(考古学・文化財科学)		
	特徴	考古学の方法論と年代観、文献史学と考古学の関係等について概説する。		有文字の時代・有史の時代を対象とした歴史考古学について論ずる。		弥生時代の北部九州について、集落や墓制の消長と動向について地域ごとにグループで分かれ、報告書や論文等を調べ、発表するアクティブラーニング型の講義。		卒業論文への具体的な第一歩として位置付ける。当初の一ヶ月で、各自、書きたい卒業論文の研究対象を絞り込んでゆく。		
主要科目2	科目名	文化財科学概論		文化財科学講義(文化財保存学)		考古学実習Ⅰ・Ⅱ		卒業演習2(考古学・文化財科学)		
	特徴	金属や木材など、文化財がどのような材料でどのように作られているのかを、自然科学の考え方をを用いて調べる方法を、具体的な事例を交えて紹介する入門科目である。		文化財の劣化要因と保存環境について、材質ごとの特性を踏まえて解説し、保存処理の理論と実際を事例に即して学ぶことで、保存修復の考え方を理解する科目である。		遺跡から出土した遺物がどのように取り扱われるのかを知るとともに、資料化の第一歩として実測の基本的技術を身に付ける。		当初の1ヶ月で、夏季休暇中の研究成果を集約し、新に生じた問題を解決する。		
主要科目2	科目名	文化財科学概論		文化財科学講義(文化財保存学)		考古学実習Ⅰ・Ⅱ		卒業演習2(考古学・文化財科学)		
	目的	文化財を自然科学の視点から捉える意味を理解し、モノをよく観察して材料や作り方を考える基本的な視点と力を身につけ、今後の専門的な学びの土台をつくることを目的とする。		材質や環境に応じた劣化のしくみと保存修復の科学的な方法を理解し、文化財の価値を損なわない適切な処置や保存対策を、根拠をもって判断できる力を養うことを目的とする。		文化財専門職を目指したい学生達に必須であるのは、古墳時代の「須恵器」呼ばれる土器の実測です。何故かという、行政の採用試験において、この「須恵器」の実測が課題されることが極めて多数を占めるからです。専門職育成のための第一歩を踏み出す実習となる。		社会においても役立つ情報分析・文章構成・プレゼンテーション能力を培うことをねらいとしている。		